

こだま

2015 春
vol.20

TAKE FREE
ご自由に
お持ち下さい



トロッコ列車とさくら

理念

私たちは、高い技術と温かい心を持って、医療・介護を提供し、地域社会の発展に貢献します

基本方針

1. 患者様中心の良質な医療と介護を提供します (良質な医療と介護)
1. 医療安全に最大の注意を払います (医療安全)
1. 地域の医療機関や介護サービス機関と連携し、地域医療・介護の充実に貢献します (地域連携)
1. 全職員は常に最新の医療・介護の研鑽に努めます (研鑽)

糖尿病教室のお知らせ

実施日 平成27年 6月19日(金)
場所 亀岡病院 5階 会議室 時間 14:30~

参加
無料

内容	担当者
●「野菜から食べること」で血糖値を下げてみませんか!	院長：細川 了平
●糖尿病足病変 ～足の状況、全身状態、生活状況、セルフケア状況の視点～	看護師：堀内美都子

しんまち小規模多機能ホーム 開設

2025年に向けて構築が急がれている「地域包括ケアシステム」の一端を担う事業として、「しんまち小規模多機能ホーム」を担当させていただくことになりました。利用者様やご家族のライフスタイルに寄り添ったサービスが提供できるように努力していきます。

しんまち小規模多機能ホーム 管理者 三澤 周平



▲ 小規模多機能居宅介護とは

平成18年の介護保険法によりスタートした「地域密着型サービス」の一つです。認知症の高齢者や独居世帯、要介護者が増加する中で介護が必要となっても住み慣れた地域で環境を変えず、地域の特性に応じた多様で柔軟なサービスを提供することを目的としています。利用者は居住する市町村の被保険者に限定されています。

▲ 小規模多機能型居宅介護の特徴は

生活圏内での支援・人間関係の継続、利用者様・ご家族・スタッフとの馴染みの関係の構築、通いや訪問サービス、いざという時に宿泊もできるという機能です。利用者様の希望や状態に応じて一つの事業所から「通い」「訪問」「宿泊」サービスを提供でき、どのサービスも馴染みのスタッフによって提供されることで安心感をもっていただけることが特徴です。小人数制で家庭的な雰囲気の中でサービスを利用していただくことで、認知症高齢者の環境変化によるBPSD（徘徊や興奮などの周辺症状）の発症抑制や軽減を図ることが期待できます。



小規模多機能型居宅介護

▲ サービス内容について

小規模多機能居宅介護は最大25名の登録制です。

「通い」の利用は1日最大15名となっています。利用者様それぞれの個性を見極め、その人にあった支援を提供するためです。また、通常のデイサービスに比べ、決められた時間・回数にとらわれることなく提供時間や方法を変化させることができます。例えば、ご家族の忙しい時間に合わせて早朝から利用する方法、昼食時から利用し入浴等を済ませお仕事の帰りに迎えに来ていただく方法など、利用者様とご家族のライフスタイルに合わせてご利用時間を考えます。

「訪問」は従来の訪問介護とは異なり、「通い」「宿泊」以外の時間での支援として位置づけ、時間・回数・支援内容は利用者様にあった個別の内容を提供します。例えば、スタッフがご自宅まで迎えに行く時に、必要に応じて着替えや外出の支援をするなどです。馴染みのスタッフが丁寧に一人おひとりに関わることで、利用者様の変化に気づくことができ、ご家族とのコミュニケーションを図りながら在宅での生活を支えることが可能になります。

私たちは地域包括ケアの担い手として多様な社会資源を活用しながら、重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で利用者様のライフスタイルに合わせて、24時間365日の切れ目のないサービスを提供し、在宅で最期までその人らしい人生を送ることができるような支援を目指し努力します。

介護複合施設けやき けやきグループホーム 開設

介護複合施設けやき けやきグループホーム 管理者 中村 祐二



介護複合施設けやきは、ショートステイ(利用定員27名)デイサービス(定員30名)の2事業で平成16年4月に開設致しました。開設から11年が経ち、社会、地域の介護に対するニーズは変化し、平成27年1月には認知症の方への支援を強化する国家戦略が発表され、認知症の方や家族の視点を重視した施策を柱にすることが決まりました。また、今後10年で高齢者の5人に1人が認知症になるとの予測もあり、認知症ケアの重要性が増していくのではないかと思います。そのため、介護複合施設けやきではより良質な認知症ケアを提供するため、グループホームを開設する運びとなりました。

現在、1階はデイサービスセンター、2階、3階はショートステ

イを運営しておりますが、2階、3階の改修工事を行い、1階は現在そのままデイサービスセンター(利用定員30名)、2階をグループホーム(1ユニット9名)、3階をショートステイセンター(利用定員20名)とし平成27年5月20日より新しいスタートを切ることとなります。

グループホームでは、今後も増加が見込まれる認知症の方の介護に特化し、住み慣れた地域で家庭的で落ち着いた環境の下、利用者様が主体性を持ち共同生活を送っていただけるよう援助をさせていただきます。

今後も介護複合施設けやきは、地域に貢献できる施設を目指し、職員一同、良質で心のこもった介護の提供に努めてまいります。

外来担当医表 (平成27年4月1日現在)

		月	火	水	木	金	土
内科	①診	細川	山崎	牧	山崎	大川	牧①、 細川③、 大川④⑤
	②診	心臓・高血圧外来 大槻亮	心臓・高血圧外来 大槻亮			細川	上田②④
	③診	高橋	大川	森	牧	森	
	⑤診		森		福島		
	夜間 (17:00-19:00)	森	大川	山崎	牧	布居	
整形外科	午前 (9:00-12:00)	元津	元津	元津	元津	元津	岡田
	夜間 (17:00-19:00)	元津			元津		
脳外科	午前 (9:00-12:00)			大山	辻		
皮膚科	夜間 (17:00-19:00)					府立医大	
泌尿器科	午前 (9:00-11:30)			藤井			
眼科	午後 (13:30-16:00)				府立医大	担当医	

◎ご予約が必要な外来 ※数字①②などは、①：第1週 ②：第2週を意味します。

- 受付時間：午前7:00～午後7:00(初診の方は8:30～受付となっています)
- 受付手続き

午前・午後診療
▶午前7:00～午前8:30にお見えの方は受付窓口で番号札をお渡しします。
夜間診療
▶午前8:30より、お電話でも受付しております。
※午前8:30～午後7:00までは、受付窓口にて手続きができます。
初診の方 受付にあるメモに名前を記入してクリップで止めて受付に置いてください。
再診の方 診察券にご希望の医師の番号札をクリップで止めて受付に置いてください。

- 休診日
日曜・祝祭日および4月17日(創立記念日)、8月14日、12月30日～1月4日は全科休診いたします。
学会出張等による臨時休診もあります。詳細は受付までお問い合わせください。



- JR亀岡駅下車、亀岡駅から南東へ徒歩約20分
- 京阪京都交通バス 亀岡病院前下車
- タクシー(駅前にタクシー乗り場あり)

医療法人 **亀岡病院**
TEL (0771) 22-0341(代)
FAX (0771) 22-4305
〒621-0815 京都府亀岡市古世町3丁目21番1号
E-mail kamekame@oak.ocn.ne.jp

診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、リウマチ科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、眼科、放射線科

亀岡病院 検索 <http://www.kameokahp.com>

着任のごあいさつ

医療法人 亀岡病院 院長就任のご挨拶

院長 細川了平

**所属学会
資格**
日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会認定専門医
日本心臓病学会特別正会員(FJCC)
日本心臓リハビリテーション学会 評議員
日本心臓核医学会 評議員
人間ドック健診専門医



このたび、平成27年4月1日付で山崎英彰前院長の後任として、医療法人亀岡病院院長の大役を仰せつかりました。来年(平成28年)で60年を迎える歴史ある病院の院長を拜命し、身の引き締まる思いであります。病院を利用いただく皆様にも少しでもお役にたてるよう、全身全霊を込めて仕事に邁進する所存です。末永く宜しく願いいたします。

時代とともに、医療の形は変化して参りました。それと共に病院の役割も変わって参りました。以前の病院では、「診断と治療」をきちんと行い、患者様の病気を治し、家にお返しすることが主たる仕事でした。しかし昨今は、「医療と介護」は切り離すことのできないものとなり、患者様及びそのご家族が、今後どのように生活していただくか、またその場に、どのように医療が携わるかを、綿密に相談し、計画し、実行することが不可欠となってきたと考えております。このことは、外来や入院で治療中から始める必要があるとも考えております。これからの亀岡病院では、以前よりもまして、単に病気を診断し治療するだけでなく、患者様やそのご家族に対して、今後より良き生活(QOL(Quality of Life:

これからの人生の質)の高い生活)を送って頂けるように病院業務に励みたいと考えております。これには、医師、看護師だけでなく、その他のスタッフも一緒になって関わりを持ち、また同法人内の施設や介護部門とも十分協力の上、実現するべく努力する所存であります。

亀岡病院は、「診断と治療」の充実にも、十分配慮いたしております。病院の新築移転に伴い、人工透析およびリハビリテーションの施設拡充を行っておりますし、今年度中に新しくMRI撮像装置を導入することとなっております。また新病院移転後、電子カルテを導入し、きめ細かい診療に努めております。高度急性期病院との連携も密に行い、重症で早急に手術や特殊手技が必要となる場合は、責任をもってお送りするようにしております。何よりも、受診者の方々が安心して来院頂く病院を目指しております。

最後に、何か困ったこと、心配なこと、聞いてみたいこと等ございましたら、何時でも、何なりと、お声をかけてください。また調子がおかしくなったら、何時でも当病院を受診ください。「亀岡病院は、皆様のための病院である」と思っております。

泌尿器科全領域から 腎不全・血液透析に到るまで あたたかみのある医療を提供します

透析センター長
泌尿器科 部長 藤井秀岳

**所属学会
資格**
日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医・指導医
日本透析医学会 専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医



本年4月から、当院で勤務させていただくことになりました泌尿器科・腎不全科の藤井秀岳と申します。私の専門は、泌尿器科一般と腎不全・血液透析であり、当院ではこれまで非常勤医師が診療していた週1回の泌尿器科外来を担当させていただきます。また、2年前に開設された透析センターのセンター長としても尽力に努めていきたいと思っております。

ところで、「泌尿器科」という科にはあまり馴染みがない方も多いと思いますが、「泌尿器科」という名前にはどういう意味が込められているのかご存知でしょうか? 一般の方では、泌尿器科の「泌」の字は「泌」ではなく「秘」と勘違いされて、「何か恥ずかしい科ではないか?」というイメージをお持ちの方もおられるようです。正しくは、泌:内分泌、尿:尿路、器:(男性の)外性器を指しています。泌尿器科が取り扱う臓器のうち、(副甲状腺)・副腎・前立腺は内分泌腺です。そして、「尿」は腎臓・腎盂・尿管・膀胱・尿道を指し、「器」は精巣やペニス指します。それらの臓器の感染症や癌、排尿障害、尿路結石、以

下専門性が高くなりますが、小児泌尿器科・男性不妊・男性更年期障害・腎不全に至るまで幅広く診療している科なのです。

一方、「腎不全に対する慢性血液透析」という治療はかなり特殊性が高いものです。患者様は、祝日や年末年始に関係なく1週間に何回も通院して繰り返し透析を受けねばならず、日常生活においても様々な制約が付きまといまいます。例えば、食事制限や飲水制限、そして禁忌薬も多々存在します。さまざまな制限のある生活の中で、より適切な治療を提供するためには、患者様の生活に関わるいろいろな側面に対して学際的な取り組みが必要となります。そのためには医師・看護師・臨床工学技士・薬剤師・栄養士…等、様々な業種の連携が必要です。残念ながら、透析導入後の5年生存率は約60%と言われております。私たちの病院ではそれを少しでも上回るよう、また透析治療をうける患者様のQOL維持のために腎臓病の一貫した良質な治療を提供したいと考えておりますので、スタッフの皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

地域にひらけた 神経内科診療を目指して

神経内科 部長 森 信人

**所属学会
資格**
日本内科学会 認定内科医
日本神経学会 神経内科専門医・指導医
日本認知症学会 専門医・指導医
日本脳卒中学会



はじめまして。本年4月より亀岡病院で診療をすることとなった森と申します。専門は神経内科で、10年間京都市内の急性期病院で研鑽をつんできました。神経内科は脳の病気だけではなく、脊髄、末梢神経や筋肉といった手足の病気で幅広くあつかっており、文字通り”頭からつま先まで”診療をおこなっております。

日本は医療の発達により多くの人が長生きができるようになり、経験したことのない超高齢化社会を迎えています。その一方で健康年齢は70代といわれており、最近の統計では90歳を越えれば約6割のかたが認知症を生じると言われています。つまり健康に長生きすることはまだまだ難しい時代です。そこで神経内科は専門的な知識、診断手法、画像診断(MRIやシンチグラフィなど)を用いて、患者様の病気の診断を行っています。少しでも長く自分が住み慣れた家での生活をサポートができるように、専門的な薬を使うだけでなく、住環境を整えたり、家族や友人の方との交流の中で生活、療養しやすい環境を提供できるように努めています。

脳卒中は患者様の数も非常に多く、重症度も様々です。

そこで患者様ひとりひとりの脳の血管の状態や他の動脈硬化疾患、不整脈の治療をふまえ、最適な治療をおこなうよう心がけています。また高血圧、糖尿病などのメタボリックシンドロームを基にしていることが多いため、こういった動脈硬化に関わる病気の診療もしています。

頭痛やしびれ、めまいといった、いわゆる“よくある”病気についても診断から治療まで行っています。必要な場合は整形外科や脳神経外科といった専門科への紹介を行います。パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症などの神経難病の診断、治療もおこなっており、患者様の状態に応じた治療をおこなっています。

そのほかにも片側顔面痙攣(まぶたやくちのまわりがピクピクする病気)や脳卒中後などの上下肢痙縮(麻痺した手足がかたく動きにくくなった状態)に対するボツリヌス毒素治療もおこなっています。

「物忘れがある」「手足がうごかしにくい」「手が震える」など普段と違うと感じたら気兼ねなく受診してください。

今後ともどうぞ宜しく願いいたします。

退職ドクター
(3月31日付)

◆透析センター、内科 福島 達夫 ◆消化器内科 井濱 康

有難うございました

栄養科

カンタン!おいしい! おすすめレシピ 栄養科 管理栄養士 足立 和代

鶏肉の唐揚げ薬味ソース

鶏肉をさっぱりと食べられます。一般の唐揚げより柔らかく仕上がるので、高齢者の方にも食べやすくなっています。



1人分: 262kcal
たんぱく質 13.6g
塩分 1.4g

材料
鶏肉 …………… 80g
漬け汁
生姜しぼり汁 …… 適量
濃口しょうゆ1に対し
料理酒2の割合で
片栗粉 …………… 適量
サラダオイル …… 適量

薬味ソース
青ねぎ …………… 10g
生姜しぼり汁 …… 適量
濃口しょうゆ …… 小さじ1/2
酢 …………… 小さじ1
砂糖 …………… 小さじ1
ごま油 …………… 小さじ1/2

《唐揚げの作り方》

- ①鶏もも肉をひと口大に切り、20分くらい漬け汁に漬けておく。
- ②汁気をきった①の鶏肉に片栗粉をまぶす。
- ③180度の油でからっと揚げる。
- ④熱いうちに下記の薬味ソースにからませて出来上がり。

《薬味ソースの作り方》

- ①濃口しょうゆ・酢・砂糖を入れて軽く火にかけ、砂糖を溶かしなじませる。
- ②①に小口切りにした青ねぎ・生姜汁・ごま油を入れかき混ぜる。

ポイント

薬味ソースは、1~3人分だと量が少なくてからみにくいので、少人数分を作られる場合は、やや多めに作られた方が良いでしょう。